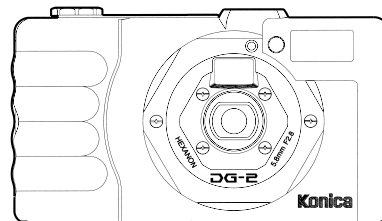
Konica

デジタルスチルカメラ

DIGITAL 現場監督 DG-2

ご使用前に必ず
お読みください。

使用説明書

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に、この使用説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。使用説明書はお読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。

＊本文中のイラストは、説明用のため実際のデザインと異なる場合があります。

■ご使用前に必ずお読みください。

●事前に試し撮りをしてください。
大切な撮影（業務用および結婚式や旅行など）の前には必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

●撮影内容の補償はできません。
本製品およびＣＦカードの不具合で、万一撮影や再生がされなかった場合などの撮影内容の補償については、ご容赦ください。

●著作権にご留意ください。
あなたが撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

●商標について
＊Ｗｉｎｄｏｗｓは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
＊Ｍａｃｉｎｔｏｓｈは、米国アップルコンピュータ社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
＊ＣｏｍｐａｃｔＦｌａｓｈは、ＳａｎＤｉｓｋＣｏｒｐｏｒａｔｉｏｎの商標です。
＊その他記載の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

●電波障害自主規制について
本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをお願い致します。

目次

準　備

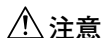
基本操作

応用操作

その他

安全上のご注意　※必ずお守りください。

本製品は安全性には十分配慮していますが、下記の表示マークおよび警告・注意に関する記載をよくお読みになった上で正しくお使いください。下記の表示マークは、万一にも傷害や損害を与えることのないように、正しく製品をご使用いただくための警告表示マーク・注意表示マークです。

警告　このマークの内容を守らなかった場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性があることを示すマークです。

⚠注意　このマークの内容を守らなかった場合、使用者等が軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示すマークです。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。（下記は絵表示の例です）

△記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

○記号は、してはいけない「禁止」内容です。

●記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警　告

電源プラグを抜く

次の場合は直ちに使用を中止し、メインスイッチをＯＦＦにして、電池やＡＣアダプターを取外してください。
また、ＡＣアダプターを使用している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

●煙が出ている、カメラが異常に熱くなる、変な臭いや音がするなどの異常状態のとき
●機器の内部に水などが入ったとき
●異物が機器の中に入ったとき

分解禁止

分解や改造、ご自身での修理はしないでください。
火災や感電の原因となります。
修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

水ぬれ禁止

機器の内部に水をかけたり、ぬらしたりしないでください。
内部に水が入ると、火災や感電の、故障の原因となります。
水が入ったと思われるときは、直ちに使用を止め、販売店にご相談ください。

禁止

機器の内部に金属物や燃えやすいものを落としたり、入れたりしないでください。
内部に金属物などが入ると、火災や感電、故障の原因となります。

自動車などの乗り物を運転しながらの使用は絶対にしないでください。
交通事故誘発の原因となります。
歩きながら使用するときは、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

不安定な状態で使用しないでください。
特に高所の場合、転落すると死亡や大ケガの原因となります。

⚠ 警　告

ファインダーで直接太陽を見ないでください。
失明や視力障害の原因となります。

雷が鳴り出したら本機の金属部に触れないでください。
落雷すると、誘電雷により感電死の原因となります。

指定外のＡＣアダプターを使用しないでください。
指定外のものを使用すると火災の原因となります。

電池を分解、ショート、加工（半田付けなど）、加熱、加圧（釘で刺すなど）、火中に投入などしないでください。
また、他の金属物（針金やネックレスなど）に接触させないでください。
液漏れ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 注　意

レンズを太陽や強い光源に向けないでください。
集光により、内部部品の破損の原因となり、そのまま使用するとショートや絶縁不良で発熱し、火災の恐れがあります。

電池蓋やカード蓋などに指を挟まないようにご注意ください。
挟まれるとケガをする恐れがあります。

飛行機内で使用するときは航空会社の指示に従ってください。
本機が出す電波などにより、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

目に近づけてフラッシュを発光させないでください。
目を痛める危険があります。

⚠ 注　意

撮影の際にはフラッシュ表面の汚れを清掃し、フラッシュを覆わないようご注意ください。
フラッシュの表面が汚れていたり、フラッシュを覆ったまま撮影すると、フラッシュ発光時の高温により、フラッシュの表面が変質・変色します。

電池を入れるときは、＋／－の向きを確認して正しく入れてください。
間違えると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、ヤケドやケガをする危険があります。

汗や油で汚れた電池は使用しないでください。
もし汚れていたら、乾いた布で良く拭いてから使用してください。

カメラのお手入れをするときは、安全のためＡＣアダプターを外してください。

次の場所に放置しないでください。
●強い直射日光が当たる所や、車の中など高温になる場所
　火災や破裂の恐れがあります。
●乳幼児の手の届きやすい所
　ストラップを首に巻いて窒息する、電池やカードなどの付属品を飲み込むなどの恐れがあります。
●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所
　頭や足の上などに落下するとケガにつながるだけでなく、故障の原因にもなります。
●油煙や湯気の当たる所、湿気やほこりの多い所、振動が激しい所
　内部に水やほこりが入ったり、激しい振動で内部部品が破損したりすると、発熱や火災、感電の原因になります。

⚠ 注　意

長時間ご使用にならないときは電池を外してください。
長時間電池を外すと、日付／時刻はリセットされますのでご使用の際は再度設定してください。

無理な操作を行なわないでください。
機器が破損してケガの原因となります。

三脚を取り付ける場合、カメラを回してつけないでください。

電池の液漏れ処理ついて

- 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときは、直ぐに水で良く洗い流してください。
- 目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、直ぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。

1．耐水圧設計ではありません

＊水中撮影は絶対にしないでください。
＊カメラを長時間水中に沈めないでください。
＊高い水圧での流し洗いはしないでください。
＊万一カメラ内に浸水したときは、すぐに電池を抜き取り、当社サービスステーション（Ｐ７９）にお持ちください。
＊特殊環境下で使用される場合は、当社サービスステーションにご相談ください。

2．電池蓋、カード蓋などについて

＊カメラ内部は防水、防塵構造になっておりません。
＊電池蓋、メモリーカード蓋、端子カバーを開閉するときは、軍手等をしたまま操作しないでください。
また、カメラに付着した水・砂・泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所を避けて開閉操作を行ってください。
＊カメラは気密性が高いため、気圧が変化すると、蓋が開けにくくなることがあります。

3．水ぬれ、汚れについて

＊カメラに水滴がついたときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
＊カメラに海水や砂、泥が付着した場合は、電池蓋、メモリーカード蓋、端子カバーが確実に閉まっていることを確認した上で、洗面器などに溜めた真水を布またはスポンジに含ませて軽く洗い流してください。洗い流したあとは、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
＊水道水で汚れを落す場合は、少量の水を出しながら洗い流してください。

4．気温が変化した場合

＊カメラに急激な温度変化を与えると、防塵ガラスの内側が曇ることがあります。
カメラを温度になじませ、曇りが消えてから撮影してください。
＊寒冷地ではカメラに水滴が付着していると、凍結することがあります。
凍結したまま使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
＊寒い所へカメラを出す場合は、カメラをビニール袋に入れ、徐々に外気温に慣らすとレンズ面の曇りは軽減されます。

5．ゴムパッキンについて

＊電池蓋、メモリカード蓋、端子カバーなどの周囲のゴムパッキンは、防水上大切な役割をしています。傷をつけたり、剥がしたりしないでください。その接触面は微細なゴミ（髪の毛１本、砂粒１コなど）が挟まっても水漏れの原因となります。

＊防水効果を維持するため、ゴムパッキンは異状の有無にかかわらず、２年毎に交換してください。ひんぱんに水、砂、ホコリの中で使用する場合は１年毎の交換をおすすめします。交換は、当社サービスステーションでお引き受け致しております。（有料）

必要なアクセサリー

■付属品をお確かめください。

カメラの他に以下のものが同梱されています。梱包を開封後、速やかに全てのものが入っているかをご確認ください。
万一、欠けているものがございましたら直ちに販売店へお問い合わせください。

1）単３形アルカリ乾電池　×４
2）ストラップ　×１
3）ネームプレート（ネームシート）　×１
4）使用説明書（本書）　×１
5）品質保証書　×１
6）コニカカード　×１

■本製品は、以下の電源でご使用になれます。

1）単３形アルカリ乾電池４本

＊マンガン乾電池、ニッカド充電池は使用できません。

2）ご家庭の電源コンセント

・専用のＡＣアダプター（別売、型番：ＤＧ－ＡＣ１）をつなぎます。

3）充電式ニッケル水素単３形電池４本

・市販品、または別売の「DIGITAL現場監督ＤＧ-１用充電池キット」（型番ＤＧ－ＢＣ－Ｋ）が本製品に共通でご使用になれます。
・充電式電池をご使用になる場合は、電池および充電器の説明書をよくお読みになり、注意に従ってご使用ください。
・カメラで充電はできません。
・充電式電池を廃棄する場合は、電池購入したお店の回収システムに従うなどリサイクルにご協力ください。その他の電池を廃棄する場合は、その地域の条例に従ってください。
・撮影可能枚数は、充電式電池の性能や使用状況により変化します。

※長時間ご使用にならないときは、カメラから電池を外してください。
※電池寿命については、Ｐ２３をご覧ください。

コンパクトフラッシュ（ＣＦ）カードについて

●コンパクトフラッシュカード（以下、ＣＦカード）は下記の製品をご使用ください。

１）当社ＣＦカード（推奨）
・コニカＣＦカード８ＭＢ　（型番：ＣＦ１－８Ｍ）
・コニカＣＦカード１６ＭＢ（型番：ＣＦ１－１６Ｍ）

２）市販のＣＦカード
・ＳａｎＤｉｓｋ社製ＣＦカードをご使用ください。
※市販のＣＦカードの中には、互換性の確認がされていないものや類似品として規格を満たさないものがありますのでご注意ください。

●誤動作や故障などにより、記録内容が失われる場合がありますが、これによる損害賠償等の責任を当社では一切負いかねますので、予めご了承ください。

＊大切なデータは必ずバックアップを取ってください。
＊ＣＦカードをパソコンで使用する際、ＣＦカードに保存されているファイル（画像データ）を削除するとき以外はファイルの属性（読み取り専用）を変更しないでください。カメラで削除を実行したときに正常な動作ができない場合があります。
＊パソコンでＣＦカードに保存されている画像データのファイル名を変更したり、カメラによる画像データ以外のファイルを書き込んだりしないでください。そのＣＦカードを入れても、変更したり新しく入れたりした画像はカメラで再生できないばかりでなくカメラの機能に障害を起こすことがあります。また、カメラによって消去されてしまうことがあります。

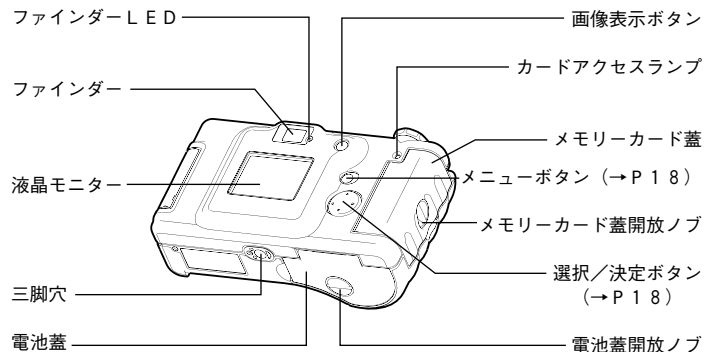
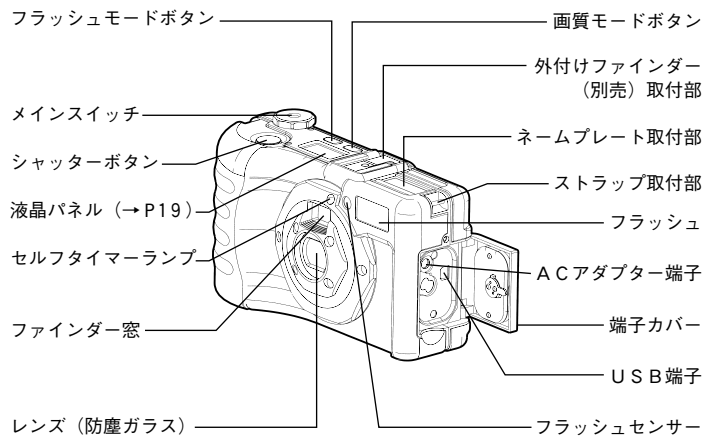
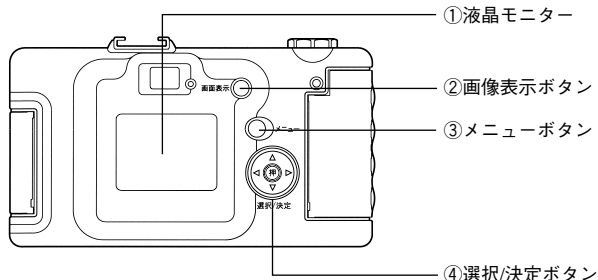
⚠ **注意**
ＣＦカードは精密な電子部品で作られています、次のような操作は、動作不良や故障の原因となりますので絶対に行なわないでください。
・端子部に手や金属で触れないでください。静電気によって部品に損傷が生じる恐れがあります。
　ＣＦカードを扱う前に必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電させてください。
・曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。
・読み込みや書き込みが終了するまでは、絶対にＣＦカードを抜かないでください。
・分解や改造はしないでください。

液晶モニターについてのご注意

●液晶モニターは液晶の特性上、温度変化などで明るさに多少のムラが出ることがあります。
●液晶モニターは、高精度な技術を駆使して開発されており、鮮明度・画質等に優れていますが、画面の一部にドット欠けや常時点灯するドットが存在する場合があります。予めご了承ください。
●万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破損などでケガをする恐れがありますので、十分にご注意ください。
また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう十分にご注意ください。

本　体

フラッシュモードボタン
画質モードボタン
外付けファインダー（別売）取付部
メインスイッチ
ネームプレート取付部
シャッターボタン
ストラップ取付部
液晶パネル（→P19）
フラッシュ
セルフタイマーランプ
ＡＣアダプター端子
ファインダー窓
端子カバー
ＵＳＢ端子
レンズ（防塵ガラス）
フラッシュセンサー

ファインダーＬＥＤ
画像表示ボタン
カードアクセスランプ
ファインダー
メモリーカード蓋
液晶モニター
メニューボタン（→Ｐ１８）
メモリーカード蓋開放ノブ
選択／決定ボタン（→Ｐ１８）
三脚穴
電池蓋
電池蓋開放ノブ

液晶モニターと操作ボタン

①液晶モニター
液晶モニターを使った撮影や、様々なメニュー選択を行なう際に点灯させ、使用します。

②画像表示ボタン
液晶モニターを点灯／消灯させるボタンです。

③メニューボタン
メニュー画面を表示させるボタンです。

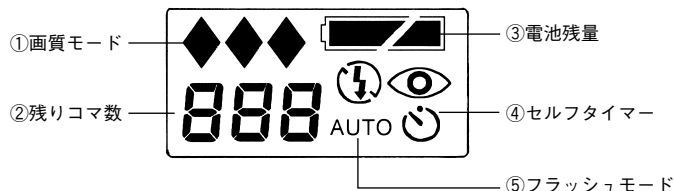
④選択／決定ボタン
メニューの選択や、選択したメニューを決定する場合などに使用するボタンです。各操作は、中央部のボタン（“押” の文字が書いてある突起ボタン）で行います。

1）選択ボタン（上下左右への操作で選択ボタンとなります）
ボタンを▲、▼、◀、▶ のいずれかの方向に押すとメニューや画像などの選択ができます。また、拡大表示した画像のスクロールやデジタルズームの操作にも使用します。

2）決定ボタン（中央部の押し込み操作で決定ボタンとなります）
選択したメニューを開く場合や選択した内容を決定させる場合には、ボタンの中央部を真っ直ぐに押し込んでください。

※選択を行なわずにメニューを終了させるには、メニューボタンを押します。

液晶パネル

＊説明用のため、図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

①画質モード
画質モードボタンを押すと、撮影する画像データの画質を 3 種類の中から選択できます。

◆◆◆	高画質	（１９２万画素）
◆◆	提出用	（約１２２万画素）
◆	エコノミー	（約３０万画素）

②残りコマ数
撮影可能な残りコマ数を表示します。また、パソコンとの接続時には「ＰＣ」と表示されます。
ＣＦカードが入っていないとき、ＣＦカードに残量がないときなどは、「０００」が点滅します。

③電池残量
電池を使用している場合に、電池残量を 3 段階で表示します。

フル：
半分：
空　：

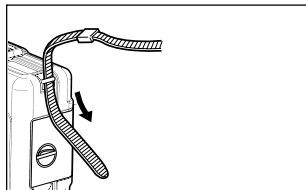
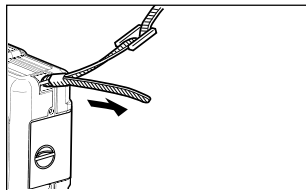
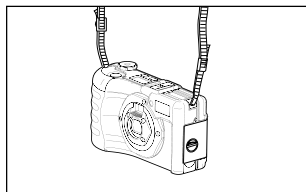
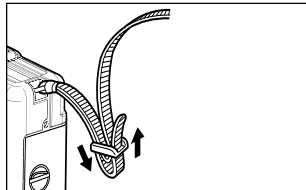
④セルフタイマー
画質モードボタンとフラッシュモードボタンを同時に押すと、セルフタイマー撮影ができます。
全ての撮影モードでセルフタイマー撮影が可能です。

⑤フラッシュモード
フラッシュモードボタンを押すと、被写体に応じて、最適な撮影モードを選択することができます。

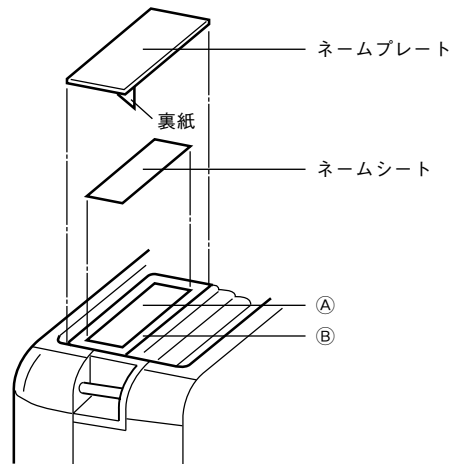
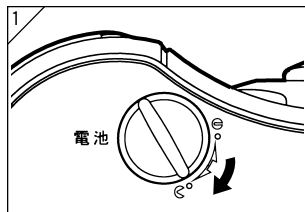
AUTO　自動フラッシュモード
フラッシュ発光禁止モード
フラッシュ強制発光モード
AUTO　赤目軽減撮影モード

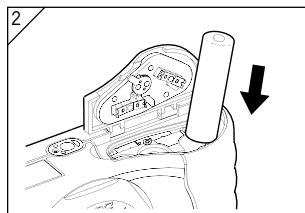
＊各モードの詳細につきましては、「フラッシュモード(撮影モード)を選択する」の項をご参照ください（Ｐ４０～Ｐ４２）。

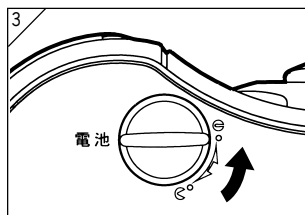
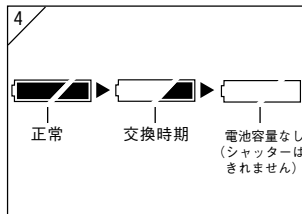
ストラップの取り付け方

●図にならって取り付けてください。

⚠ 警告：
使用するときは、ストラップが首に巻きつかないように注意してください。特に、幼児・児童の首にかけないでください。誤って巻きつくと、窒息する恐れがあります。

⚠ ぶら下げて持ち運ぶときは、カメラをぶつけないように注意してください。

ネームプレートの取り付け方

①ネームシートにお名前を記入し、Ⓐ に入れてください。

②ネームプレートの裏紙を剥がしてⒷ に入れて上から押してください。

●電池を入れるときや交換するときは、メインスイッチが「切」であること、液晶モニターが消灯していることを確認し、全ての電源をＯＦＦの状態にしてください。
●単３形電池４本を使用します。単３形アルカリ乾電池、または充電式ニッケル水素電池がご使用になれます。

１．電池室開放ノブを、矢印方向へ回し、ノブと○印（ ⓒ 側）を合わせると電池蓋が開きます。

⊘濡れた手で操作しないでください。感電の恐れがあります。

２．電池４本を、電池室内の表示に合わせて正しい向きで入れます。

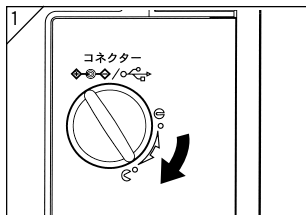
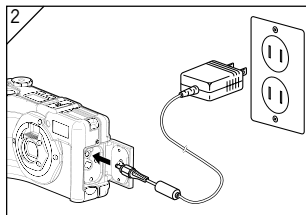
⚠注意：十、一の向きを間違えて入れると、液漏れや発熱などにより、ケガや汚損、あるいはカメラが損傷する恐れがあります。

３．電池蓋を閉めて、電池蓋開放ノブを回し、ノブと ⊖ 側の○印を合わせるとロックされます。

４．電池残量表示が半分白くなったら、電池交換の時期です。
＊電池交換するときは、同じ銘柄の新しい電池を４本同時に交換してください。
＊外出の際は、予備の電池を携行することをお勧めします。
＊電池交換は１５分以内に行なってください。１５分以上経ちますと、日時の設定が初期値に戻ります。なお、バックアップ時間は環境等により変化する場合があります。

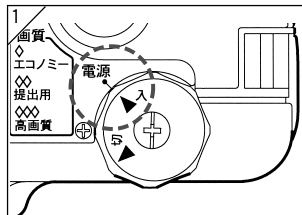
●電池寿命の目安（参考値）

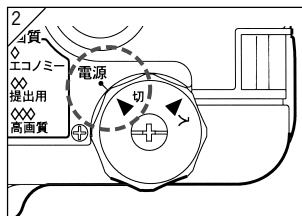
	撮　影		連続再生時間
	液晶モニター		
	（ＯＮ時）	（ＯＦＦ時）	
単３形アルカリ乾電池	約140枚	約1000枚	約　70分
ニッケル水素電池	約230枚	約1400枚	約120分

＊上記は当社試験条件によります。
＊電池寿命は、電池のブランドやグレード、使用環境により異なりますので、予備の電池を携行されることをおすすめします。
＊上記数値は参考値であり、保証値ではありません。

ＡＣアダプター（別売）をつなぐ

●電池の消耗を気にせずに、撮影・再生・データ転送（ＵＳＢ接続）するには、専用のＡＣアダプター（別売）のご使用をおすすめします。
●ＡＣアダプターは必ず専用のもの（別売、型番：ＤＧ−ＡＣ１）をご使用ください。指定外のものをご使用になった場合、故障や火災、感電の恐れがあります。
●最初に、メインスイッチが「切」であること、液晶モニターが消灯していることを確認し、全ての電源をＯＦＦの状態にしてください。
●本書の「安全上のご注意」と、ＡＣアダプターに付属の注意書を参照の上、正しくお取り扱いください。

１．端子カバー開放ノブを、矢印の方向へ回し、ノブと○印（ side）側）を合わせるとカバーが開きます。

２．ＡＣアダプターをＡＣ１００Ｖのコンセントに差込みます。続いて、カメラ側のＡＣアダプター電源端子に、ＡＣアダプターケーブルを接続します。

電源のＯＮ／ＯＦＦ操作

１．メインスイッチを回して、図のように「入」の▲指標と、電源指標を合わせると、“ピピッ”と音が鳴り、電源がＯＮとなります。

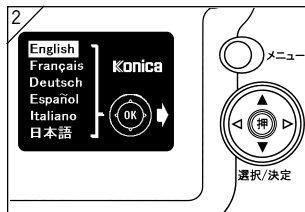
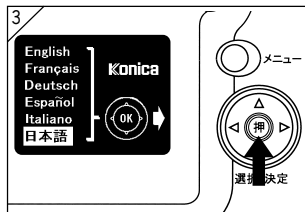
＊ 電源ＯＮで、液晶パネル（Ｐ１９）の表示が点灯します。

２．メインスイッチを回して、図のように「切」の▲指標と、電源指標を合わせると電源がＯＦＦとなります。

＊ 電源ＯＦＦで、液晶パネルの表示は消灯します。

メニューの言語を合わせる

●ご購入後初めてカメラの電源をＯＮにすると、言語選択画面が自動的に表示されます。以下の手順で表示言語の設定をしてください。
●新しい電池またはＡＣアダプターが装着されていることを確認してください。

1．メインスイッチを「入」にして電源をＯＮにすると、液晶モニターが自動的に点灯し、言語選択画面が表示されます。

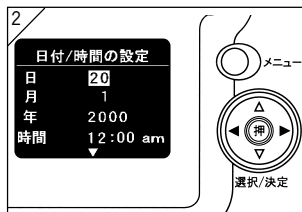
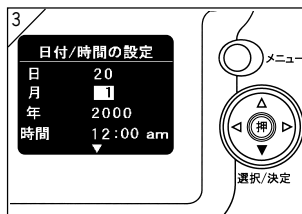
＊液晶モニターが自動的に点灯するのは初めてカメラの電源をＯＮにしたときのみです。以降に液晶モニターを使用する場合は、画面表示ボタンを押してください。

2．選択ボタンを▼または▲側に押して、目的の言語をハイライト表示させます。

3．決定ボタンを押します。

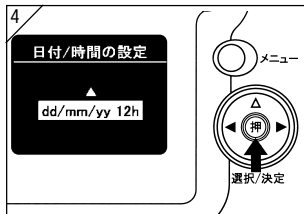
これで言語選択は完了です。続けて日付・時刻の設定を行なってください（Ｐ２７）。

※液晶モニターを点灯させたまま約１分以上操作をしないと、電池の消耗を防ぐために液晶モニターが消灯します。画面表示ボタンを押すと再点灯します。

日付・時刻を合わせる

●言語選択後（Ｐ２６）、続けて日付・時刻の設定画面が表示されます。以下の手順で日付・時刻を合わせてください。
●電池交換したときは、日時の設定を確認してください。また、電池を外して約１５分以上経った場合、日時の設定が初期値に戻ることがありますので、その場合は再設定を行なってください（Ｐ６２)。
●２０３５年１２月３１日までの日時が設定できます。

1．言語設定後（Ｐ２６)、「日付／時間の設定」画面があらわれ日付がハイライト表示されます。

2．選択ボタンを◀または▶側へ押して、「日にち」を合わせます。

3．1）「日にち」を合わせたら、選択ボタンを▼側へ押してください。「月」の設定モードに入ります。
2）上記２と同様に選択ボタンを◀または▶側へ押して「月」を合わせます。

上記１）と２）の操作を繰り返して日付と時分を合わせてください。

４．時刻を合わせた後に選択ボタンを▼側へ押すと、日時の表示方法を選択する画面が表示されます。選択ボタンを◀または▶側へ押して希望の表示方法を選択し、決定ボタンを押します。

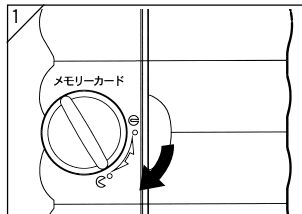
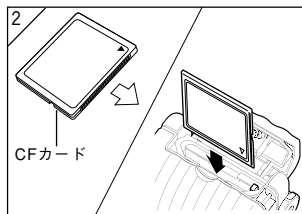
＊ 日付の形式としては、dd/mm/yy（日/月/年）またはmm/dd/yy（月/日/年）、yy/mm/dd（年/月/日）が選択できます。時刻の形式としては１２時間形式または２４時間形式が選択できます。

５．日付／時間設定の確認画面が表示されます。
「はい」表示のまま決定ボタンを押すと設定は確定され、モニター表示は消灯します。
設定完了後は、メインスイッチを「切」にして電源をＯＦＦにしてください。

＊「いいえ」を選択して決定ボタンを押すと、設定は無効になり、「日付／時間の設定」の初期画面に戻ります。

※液晶モニターを点灯させたまま約１分以上操作をしないと、電池の消耗を防ぐために液晶モニターが消灯します。画面表示ボタンを押すと再点灯しますが、設定が途中で有ってもその設定を無効にし、言語設定（Ｐ２６）の画面まで戻りますのでご注意ください。

ＣＦカードを入れる

●最初に、メインスイッチが「切」であること、液晶モニターが消灯していることを確認し､全ての電源をＯＦＦの状態にしてください。電源が入っているとカメラ本体やＣＦカードが破壊する恐れがあります。

１．メモリーカード蓋開放ノブを、矢印の方向へ回し、ノブと○印（ ⊂ 側）を合わせるとカード蓋が開きます。

２．ＣＦカードの向きに注意して、ＣＦカードを挿入し、突き当たるまで真っ直ぐに差し込んでください。

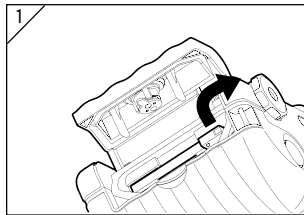
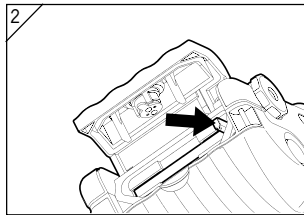
＊ＣＦカードの挿入方向は必ず正しい向きで入れてください。挿入方向を間違えると、コネクタが破壊されてしまいます。

３．カードイジェクトボタンを矢印の方向に倒してください。

４．カード蓋を元の通り確実に閉めてください。ノブと ⊖ 側の○印を合わせるとロックされます。

注意！ ＊ カードの出し入れは必ず全ての電源をＯＦＦにし、カードアクセスランプが消灯していることを確認してから行なってください。ランプの点灯中にカード蓋を開けると、カードへのアクセスが中断され、動作が正常に行なわれないことがあります。カードアクセスランプ点灯中は絶対にカード蓋を開けないでください。

ＣＦカードを取り出す

●最初に、メインスイッチが「切」であること、液晶モニターが消灯していることを確認し､全ての電源をＯＦＦの状態にしてください。電源が入っているとカメラ本体やＣＦカードが破壊する恐れがあります。

1．メモリーカード蓋を開け､カードイジェクトボタンを起こしてください。

2．カードイジェクトボタンを押すとＣＦカードが少し出ますのでカードを抜き取ってください。

⃠カードイジェクトボタンは引っ張らないでください。破損の原因になります。

3．カード蓋を元の通り確実に閉めてください。ノブと ⊖ 側の○印を合わせるとロックされます。

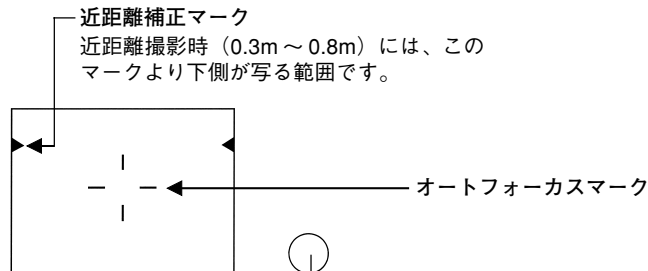
注意！＊ カードの出し入れは必ず全ての電源をＯＦＦにし、カードアクセスランプが消灯していることを確認してから行なってください。ランプの点灯中にカード蓋を開けると、カードへのアクセスが中断され、動作が正常に行なわれないことがあります。カードアクセスランプ点灯中は絶対にカード蓋を開けないでください。

撮影する

カメラの構え方

●カメラは、両手でしっかりもち、ヒジを軽く締めると構えが安定します。
●縦位置の撮影では､フラッシュが上になるように構えてください。

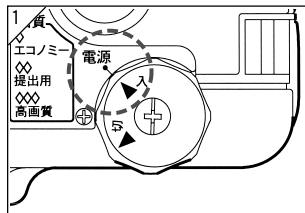
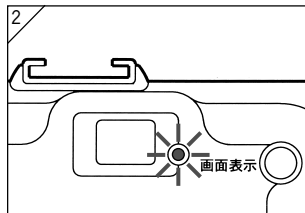
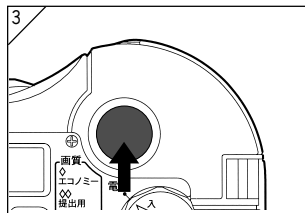
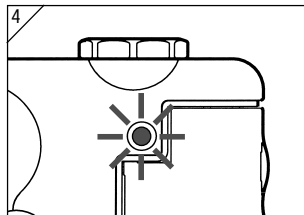
＊ 構えた指や毛髪､ストラップなどが､レンズやフラッシュなどに掛からないようにご注意ください。

ファインダーと表示ランプ

近距離補正マーク
近距離撮影時（0.3m ～ 0.8m）には、このマークより下側が写る範囲です。

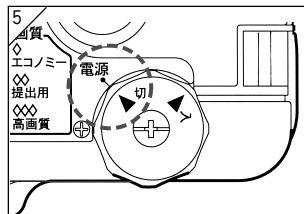
ファインダーＬＥＤ
緑ランプ点灯：撮影準備完了表示
緑ランプ点滅：ピント合わせ不能警告、低輝度連動外警告
赤ランプ点灯：フラッシュ充電中表示、画像処理中表示

※赤ランプ点灯の場合は、以下のような原因も考えられます。この場合撮影はできません（→Ｐ ７４をお読みください)。
1）ＣＦカードに残量がない
2）ＣＦカードが装着されていない
3）ＣＦカードがフォーマットされていない
4）ＣＦカードが損傷している

ファインダーを使って撮影する

●通常の撮影範囲は、被写体までの距離が０．８ｍ以上で行います。被写体までの距離が０．３ｍ～０．８ｍまでの場合は「近距離撮影」（Ｐ３５）をご覧ください。
●ＣＦカードが装着されていることを確認してください。

１．メインスイッチを「入」にして電源をＯＮにします。
＊電源ＯＮで液晶パネルの表示が点灯します。
＊防塵ガラスが汚れていたら柔らかい乾いた布できれいに拭きとってください。

２．ファインダーをのぞき、構図を決めたら、シャッターボタンを半押しにしてください。緑ランプが点灯し、ピントと露出が固定されます。
＊ピントを合わせる被写体が画面中央にないときは、「フォーカスロック撮影」（Ｐ３４）を行なってください。
＊ピントが合いにくい場合、または被写体が暗い場合は緑ランプが点滅します。３３ページをご覧ください。

３．シャッターボタンをさらに深く押し込み、シャッターをきってください。“ピピッ”と音が鳴れば撮影は完了です。
このあと、画像をＣＦカードに書き込む動作が開始されます。

４．ＣＦカードへの書き込み中は、カードアクセスランプが点灯します。ランプが消灯したら記録の完了です。

⃠ランプ点灯中は､メモリーカード蓋を開けたり強いショックを与えることは絶対にしないでください｡データが消滅することがあります｡

＊液晶パネルには、残りの撮影可能枚数を表示します。撮影可能枚数は、ＣＦカードの容量と画質モードにより変動します。

５．撮影が終わったら、メインスイッチを「切」にして、電源をＯＦＦにしてください。
＊電源ＯＦＦで液晶パネルの表示は消灯します。

●シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは・・・
ピントを合わせにくい被写体か、被写体が暗すぎる（またはその両方）可能性があります。このような場合、以下の手順を実行してください。

・被写体に近すぎていないことを確認し、被写体をファインダー中央のオートフォーカスマークに合わせてください。オートフォーカスできる範囲は０．３ｍ～無限となっています。
・被写体が暗い場合は、フラッシュを使用してください。（Ｐ４１参照）
・異なる被写体を使用してオートフォーカスと露出を合わせてください。同じ明るさで同じ距離のものに向けてフォーカスロックをしてから撮影します。（Ｐ３４参照）

フォーカスロック撮影

●ピントを合わせたい被写体が画面中央から外れる場合は、フォーカスロック撮影をしてください。

1．ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスマークを合わせ、シャッターボタンを半押しにしてください。緑ランプが点灯し、ピント位置が固定されます。

＊ フォーカスロックと同時に露出も固定されます。

＊ 半押しした指をシャッターボタンから離すとフォーカスロックは解除され、やり直しができます。

2．シャッターボタンを半押しにしたまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く押し込みシャッターをきってください。

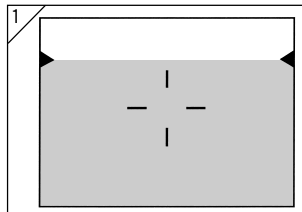
＊ 構図を決め直すときに撮影距離を変えないでください。距離が変わったときはやり直してください。

●次のような被写体ではピントが合わせにくいことがあります。

・コントラスト（明暗差）のないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
・横線だけで凹凸のないもの
・動きの速いもの
・低輝度（暗い所）のもの
・強い逆光や反射光があるとき
・蛍光灯などのちらつきがあるもの

以上のようなときは、同じ明るさで同じ距離のものに向けてフォーカスロックをしてから撮影してください。

近距離撮影

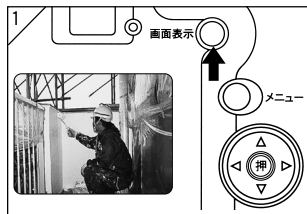
●被写体までの距離が０．３ｍ～０．８ｍのときは、近距離撮影となります。

1．ファインダー内の近距離補正マークより下側で構図を決め撮影してください。

＊ 図のグレーの部分が写る範囲です。

＊ 液晶モニターを使って撮影するとより正確なフレーミングができます（Ｐ３６）。

＊ 構図上、被写体がオートフォーカスマークから外れる場合は、「フォーカスロック撮影」（Ｐ３４）をしてください。

液晶モニターを使って撮影する

●ファインダーだけでなく、液晶モニターを見ながら撮影することもできます。

1．メインスイッチを「入」にし、電源をＯＮにした後、画面表示ボタンを押します。
液晶モニターにスルー画像（レンズを通した画像）が映し出されます。

2．液晶モニターを見ながら構図を決め、撮影します。

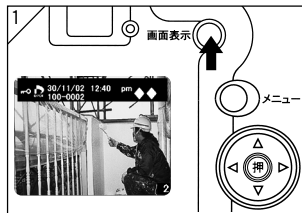
＊ 撮影手順は「ファインダーを使って撮影する」（Ｐ３２～Ｐ３３）と同じです。
＊ 画像処理が完了するとスルー画像に戻ります。
＊ 再度画面表示ボタンを押すと液晶モニターは消灯し、通常の撮影モードに戻ります。

●**オートパワーオフについて**

電源ＯＮのまま１分以上操作が行われなかった場合、オートパワーオフ機能が働き、液晶モニターが消灯し電池の消耗を防ぎます。
また、3分以上操作を行わなかった場合はメイン電源がＯＦＦとなり、液晶パネルの表示も消灯します。
オートパワーオフ機能が働いた場合は、画像表示ボタンを押すと電源ＯＮの状態に戻ります。

※撮影が終了したり長時間撮影しない場合は、メインスイッチを「切」にして電源をＯＦＦにしてください。
※ＡＣアダプター使用時も、オートパワーオフ機能が働きます。

撮影した画像を再生する

●撮影した画像を液晶モニターに再生することができます。
●メインスイッチを「切」にして、電源をＯＦＦにします。

1．画面表示ボタンを押します。
液晶モニターが点灯し、最後に撮影した画像が再生されます。

＊ 画像上部には画像情報バーが、画像右下にはコマ番号が表示されます。
＊ ＣＦカードが入っていないか、撮影された画像データがない場合は「画像が記録されていないかカードが入っていません」と表示されます。

2．選択ボタンを◀または▶側へ押すと、前の画像または次の画像が再生されます。

＊ 再生が終わったら、電池の消耗を防ぐために画面表示ボタンを押して、液晶モニターを消灯させてください。

●**画像情報バーには次の情報が表示されます。**

①撮影日時（ａｍまたはｐｍ表示は、１２時間形式に設定した場合のみ表示されます）
②撮影時の画質モード設定
③ロックステータス（画像がロックされている場合のみ表示されます。ロックの設定はＰ５１をご覧ください）
④ＤＰＯＦステータス（画像がＤＰＯＦに選択されている場合のみ表示されます。ＤＰＯＦの設定はＰ５６をご覧ください）
⑤ＣＦカードのディレクトリおよびファイル情報
＊画像情報バーは、数秒間表示された後に消灯します。

インスタントレビュー機能を使う

●予め「インスタントレビュー」モードに設定しておくと、撮影した画像をすぐに液晶モニターで再生確認することができます。また、画像を確認したときに、その画像を保存するかしないかを選択できます。モード設定の方法はＰ５９をご覧ください。

●ファインダーを使って撮影し、液晶モニターが消灯している場合：

1）撮影が終わると自動的に液晶モニターが点灯し、撮影した画像を再生します。

2）画像を保存する場合は決定ボタンを押します。
保存しない場合は、選択ボタンを◀側へ押して「いいえ」を選択後、決定ボタンを押します。

3）液晶モニターが消灯します。

＊約４秒間何も操作しなかった場合は、自動的に画像を保存し、液晶モニターが消灯します。

●液晶モニターを使って撮影した場合：

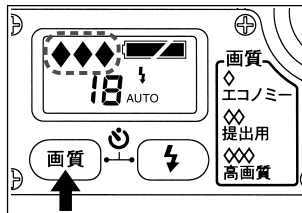
1）撮影が終わると、撮影した画像が再生されます。

2）画像を保存する場合は決定ボタンを押します。
保存しない場合は、選択ボタンを◀側へ押して「いいえ」を選択後、決定ボタンを押します。

3）スルー画像に戻ります。

＊約４秒間何も操作しなかった場合は、自動的に画像を保存し、スルー画像に戻ります。

●撮影する画像データの画質モードを３通りから選択することができます。

●同じＣＦカード上で、各画像毎に異なる画質モードを設定することができます。画質モードを切替えるたびに、撮影可能な枚数も変更されます。撮影可能枚数は液晶パネル上に表示されます。

画質モードボタンを押す毎に、液晶パネル上に各画質モードのマークが順次表示され循環します。
希望の画質モードを選択してください。

●画質モードと記録画素数（横）×（縦）

1）◆◆◆（高画質）：1600×1200pixel（１９２万画素）

最高の画質となります。大事な画像を保存しておきたいときや、パソコンに取り込んで編集したいときは、このモードを設定してください。また、20×25cmより大きく印刷をする場合もこのモードを使用します。

2）◆◆　（提出用）：1280×960pixel（約１２２万画素）

高品質な画質が得られます。公共工事の提出用資料として撮影される場合は、このモードをご使用ください。また、ディスクやデータベースに保存したり、20×25cm以下の大きさに印刷する場合もこのモードに設定します。

3）◆　（エコノミー）：640×480pixel（約３０万画素）

画質モードの中で最も多くの枚数を撮影することができます。ファイルサイズが小さく、メールで送信したり、ホームページ上に掲載する写真を撮影するなどの用途に適したモードです。

●各画質モードの撮影可能枚数（目安）

画質モード	16MB使用時（目安）	ファイルサイズ（目安）
◆◆◆（高画質）	約１６枚	約９００ＫＢ
◆◆　（提出用）	約２４枚	約６００ＫＢ
◆　（エコノミー）	約１００枚	約１５０ＫＢ

＊画像以外のファイルがあるとき、画質モードや撮影モードを切替えながら撮影した場合は、撮影可能枚数はこの表の限りではありません。

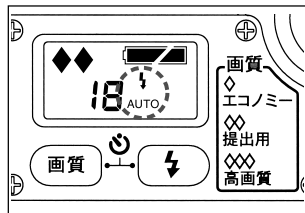
フラッシュモード（撮影モード）を選択する

●フラッシュモードボタン（ ϟ ）を押す毎に、液晶パネル上に各フラッシュモードマークが順次表示され循環します。
●一度設定したモードは固定され、そのまま撮影が続けられます。撮影が終わったらＡＵＴＯ（通常モード）に戻しておくことをおすすめします。また、メインスイッチを「切」にするとモードは解除され、再度「入」にするとＡＵＴＯに戻ります。
●各モードは、セルフタイマー（Ｐ４３）と組み合わせて撮影ができます。

フラッシュ撮影の距離： ０.３ｍ～２.８ｍ

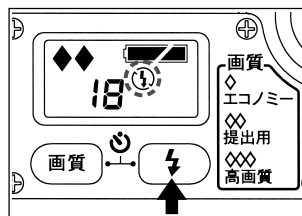
＊ 近距離では被写体によって画像が明るすぎることがあり、遠すぎるとフラッシュ光が届かず暗い画像になることがあります。
撮影後の液晶モニターでの画像確認をお勧めします。

ＡＵＴＯ（自動フラッシュ撮影）モード

●暗い所ではフラッシュが自動的に発光します。

メインスイッチを「入」にしたときは、自動発光（ AUTO ϟ）に設定されています（通常モードです）。

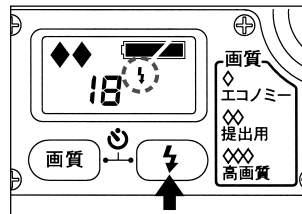
＊ フラッシュ撮影後の赤ランプ点灯は、充電中ですから、この間シャッターはきれません。
＊ 人物のフラッシュ撮影には「赤目軽減撮影」（Ｐ４２）をおすすめします。

フラッシュ発光禁止モード

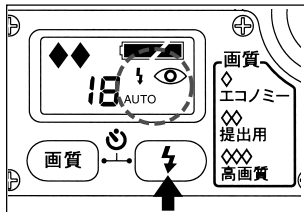
●フラッシュ使用が禁止されている場所（美術館など）や夜景、室内照明を利用して撮影するときなどにお使いください。

フラッシュモードボタン（ ϟ ）を押して Ⓧ マークを表示させます。暗い場所でもフラッシュは発光しません。

＊シャッター速度が遅くなりますので、手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。
＊被写体が動いているときはぶれの原因となります。

フラッシュ強制発光モード

●日陰や人工照明下などで、人物の顔にかかった強い陰をやわらげるとき、逆光のときなどにお使いください。

フラッシュモードボタン（ ϟ ）を押して ϟ マークを表示させます。周囲の明るさに関係なく、常にフラッシュが発光します。

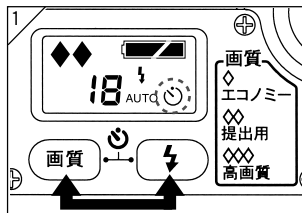
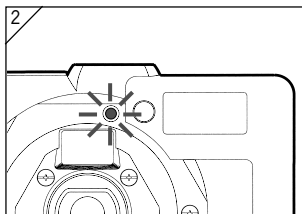
赤目軽減撮影モード

●フラッシュ撮影をしたときに目が赤く輝いて写る“赤目現象”を軽減させることができます。

フラッシュモードボタン（　）を押して　AUTO　マークを表示させます。

シャッターをきると、フラッシュが予備発光した後に本発光を行い撮影が終わります。

＊ フラッシュが本発光するまでは、カメラを動かしたり、撮られる人が動かないようにご注意ください。
＊ 予備発光や本発光を正面から見ていない場合や、被写体までの距離が遠い場合は、赤目軽減の効果が表れにくくなることがあります。
＊ フラッシュはＡＵＴＯ発光です。明るい所ではフラッシュは発光しません。

セルフタイマーを使う

●三脚をご使用ください。
●全てのフラッシュモード（Ｐ４０～Ｐ４２）と組み合わせることができます。

１．メインスイッチを「入」にして電源をＯＮにした後、画質モードボタンとフラッシュモードボタン（　）を同時に押すと、　マークが表示され、セルフタイマーモードになります。

２．シャッターをきると、セルフタイマーランプが約１０秒点滅した後、シャッターがきれます。

＊ 点滅速度は徐々に早くなります。
＊ セルフタイマーの作動を中止したい場合は、再度画質モードボタンとフラッシュモードボタンを同時に押すか、メインスイッチを「切」にしてください。
＊ 撮影終了でモードは解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行なう場合は、設定し直してください。

オートホワイトバランスについて

●本製品でのホワイトバランスは自動で行なっております。手動での設定はできません。

ホワイトバランスとは

人間の目には、照明する光の種類が変わっても、白い被写体は白に見えるという順応性があります。
このカメラでは、白い被写体を白く表現するよう、照明する光の種類を判別しバランス調整を行なっています。
しかし、単一の色が画面全体に大きく広がったものを撮影する場合、正しく光の種類を判別できないことがあります。

ホワイトバランスの合いにくい例

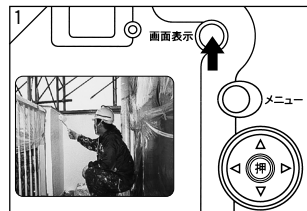
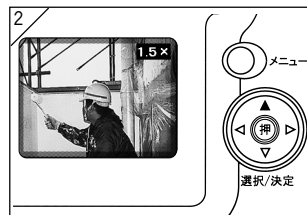
・単色の花をクローズアップで撮影する場合
・夕日や舞台照明用ライトなどで色のついた光が被写体をまんべんなく照らしている場合

このような場合は、スルー画像を見ながら構図，色彩をチェックし、撮影および記録画像の確認を行なってください。
ホワイトバランスの調整は液晶モニターでの表示にも反映されますので、モニター上で他の色も含むように構図を決めるとホワイトバランスの調整では良い結果を得られることがあります。

また、フラッシュを強制発光モードにすると、自動的にフラッシュ光にバランスを合わせますので良い結果を得られることがあります。

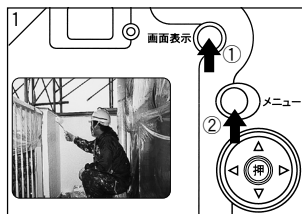
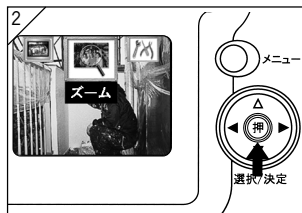
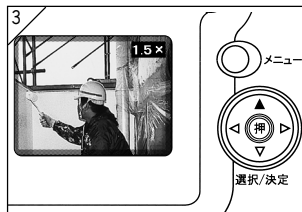
デジタルズーム機能を使う

●デジタルズーム機能を使用することで、被写体により接近した画像を撮ることができます。
●デジタルズーム機能の設定には、「クイックズーム」または「デジタルズーム」メニューによる２つの方法があります。
●デジタルズームを使用した場合、通常撮影した画像と比較して、画質の低下が生じます。

クイックズームで設定する

１．メインスイッチを「入」にして電源をＯＮにした後、画面表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させます。スルー画像が映し出されます。

２．選択ボタンを▲側へ押すと、液晶モニター上のスルー画像が赤い枠に囲まれ、ズームインされた画像が表示されます。
▲側へ押す毎にズーム率が上がります。１．５倍、２倍、２．５倍の順にズームインされます。

＊ズームアウトするには、選択ボタンを▼側へ押してください。ズームを中止して標準の画像に戻すには決定ボタンを押してください。

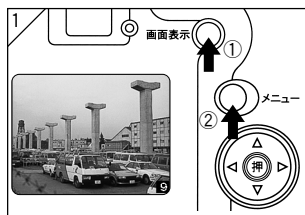
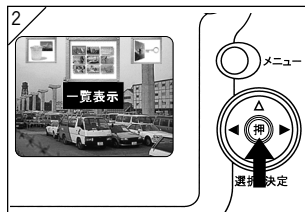
３．液晶モニターで画像を確認し、撮影してください。

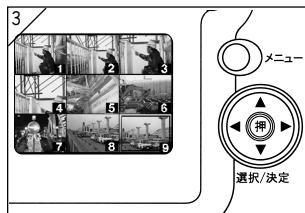
デジタルズームメニューで設定する

１．メインスイッチを「入」にして電源をＯＮにした後、画面表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させ、メニューボタンを押します。

２．選択ボタンを◀または▶側へ押して「ズーム」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

３．液晶モニター上のスルー画像が赤い枠に囲まれ、ズームインされた画像が表示されます。
▲側へ押す毎にズーム率が上がります。１．５倍、２倍、２．５倍の順にズームインされます。

＊ズームアウトするには、選択ボタンを▼側へ押してください。ズームを中止して標準の画像に戻すには決定ボタンを押してください。

４．液晶モニターで画像を確認し、撮影してください。

複数の画像を一度に見る（インデックス再生）

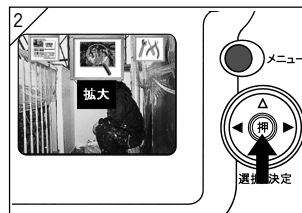
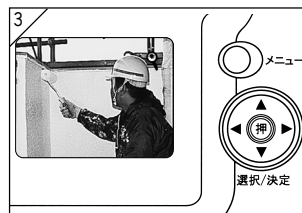
●液晶モニターに、同時に９コマの画像を表示できます。表示したい画像に素早くアクセスすることができます。
●メインスイッチは「切」にして、電源をＯＦＦにします。

1．画面表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させ、メニューボタンを押します。

2．選択ボタンを◀または▶側へ押し、「一覧表示」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

メモ：アイコン表示の画面のときに（どのアイコン表示であっても）、メニューボタンを押すと１の画面に戻ります。

3．９コマの画像が同時に表示されます。メニューに入ったときの画像が黄色の枠で囲まれています。
選択ボタンをいずれかの方向（◀、▶、▲、▼）へ押すと黄色の枠が移動しますので、表示したい画像を囲んでください。
決定ボタンを押すと選択した画像が標準の大きさで表示されます。

＊決定ボタンを押さずにメニューボタンを押すと、２の画面に戻ります。

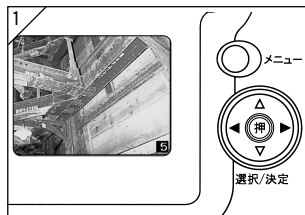
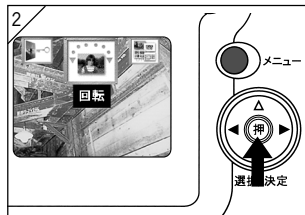
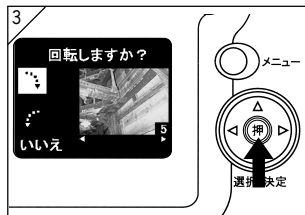
画像を拡大して表示する

●画像の一部を２倍に拡大して表示できます。
●メインスイッチは「切」にして、電源をＯＦＦにします。

1．画面表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させせます。
選択ボタンを◀または▶側へ押して見たい画像を選択します。

2．メニューボタンを押してから、選択ボタンを◀または▶側へ押して、「拡大」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

3．画像の中心部が拡大されて表示されます。
選択ボタンをいずれかの方向（◀、▶、▲、▼）へ押すと画像がスクロールしますので、見たい部分を表示させてください。

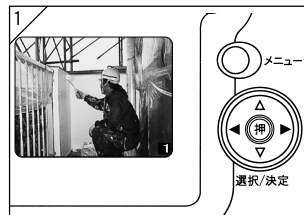
＊メニューボタンを押すと２の画面に戻ります。
＊決定ボタンを押すと標準画像に戻ります。

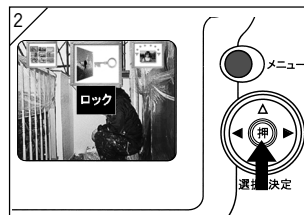
画像を回転させる

●画像を９０°単位で回転表示させることができます。
●メインスイッチは「切」にして、電源をＯＦＦにします。

1．画面表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させます。
選択ボタンを◀または▶側へ押して回転させる画像を選択します。

2．メニューボタンを押してから、選択ボタンを◀または▶側へ押して､「回転」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

3．選択ボタンを▲または▼側へ押して回転方向を選択します。時計回りに回転させる場合は、 を選択、半時計回りに回転させる場合は を選択します。
回転方向を選択したら決定ボタンを押します。決定ボタンを押す毎に画像が回転します。

＊メニューボタンを押すと回転させた向きで２の画面に戻ります。もう１度メニューボタンを押すと回転させた向きで標準画像に戻ります。

●撮影した大事な画像を誤って消去しないように、画像をロックすることができます。（ロックの解除も可能です）
●選択した画像のみ、または全ての画像を一度にロックすることができます。
●ロック設定された画像は、再生時に画像情報バー（Ｐ３７）にロックアイコンが表示されます。
●ＣＦカードをフォーマット（Ｐ６１）すると、ロックされている画像も削除されてしまいます。
●メインスイッチは「切」にして、電源をＯＦＦにします。

１コマをロックする

1．画面表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させます。
選択ボタンを◀または▶側へ押してロックする画像を選択します。

＊全ての画像をロックする場合は、どの画像が表示されていても構いません。

2．メニューボタンを押した後、選択ボタンを◀または▶側へ押して「ロック」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

＊１コマをロックする場合は次の３へ、全コマをロックする場合はＰ５２－３へ進んでください。

3．「はい」がハイライト表示されます。選択した画像のみをロックする場合は、そのまま決定ボタンを押します。

4．確認画面が表示されます。
ロック設定を確定する場合は、「いいえ」のまま決定ボタンを押します。

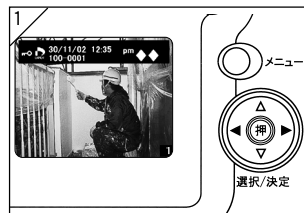
＊設定が完了すると１の画像に戻ります。

全コマをロックする

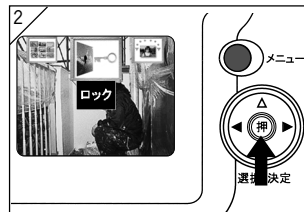
3．全ての画像をロックする場合は選択ボタンを▼または▲側へ押して「全て」を選択し、決定ボタンを押します。

4．確認画面が表示され、「いいえ」がハイライト表示されます。
ロック設定を確定する場合は、選択ボタンを◀または▶側へ押して「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

＊設定が完了すると１の画像に戻ります。

画像ロックの解除

1．選択ボタンを◀または▶側へ押してロック解除する画像を選択します。

＊ロック設定されている画像は、画像情報バー上にロックアイコンが表示されます。

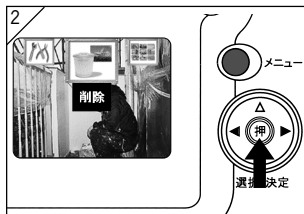
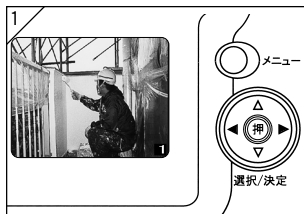
＊全てを解除する場合は、ロック設定されている画像をどれか１コマ選択してください。

2．メニューボタンを押した後、選択ボタンを◀または▶側へ押して「ロック」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

3．「はい」がハイライト表示されます。選択した画像のみを解除する場合は、そのまま決定ボタンを押します。更に「ロックしますか？」と確認画面が表示されますので、解除を確定する場合は「いいえ」のまま決定ボタンを押します。

全てを解除する場合は、選択ボタンを▼または▲側へ押して「全て」を選択し、決定ボタンを押します。更に「全て解除しますか？」と確認画面が表示され、「いいえ」がハイライト表示されます。解除を確定する場合は「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

画像を削除する

●ＣＦカードから不要な画像を削除できます。削除した画像は元に戻すことはできません。
●表示している画像を１コマだけ削除したり、撮影画像全コマを一度に削除することができます。
●画像ロックされているものは、ロックを解除しないと削除できません。
●メインスイッチは「切」にして、電源をＯＦＦにします。

１コマを削除する

１．画面表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させます。
選択ボタンを◀または▶側へ押して削除する画像を選択します。

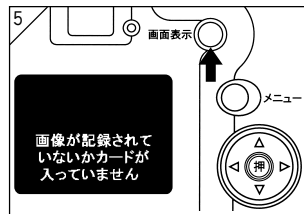
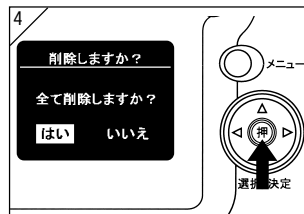
＊全ての画像を削除する場合は、どの画像が表示されていても構いません。

２．メニューボタンを押した後、選択ボタンを◀または▶側へ押して「削除」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

＊１コマを削除する場合は次の３へ、全コマを削除する場合はＰ５５－３へ進んでください。

３．「はい」がハイライト表示されていますので、決定ボタンを押します。

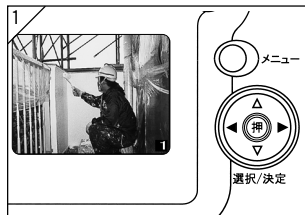
＊表示されていた画像が削除され、次の画像が表示されます。削除した画像が最終コマだった場合、前の画像が表示されます。次の画像も削除する場合は選択ボタン（▼または▲側）で「はい」を、削除しない場合は「いいえ」を選択して決定ボタンを押してください。

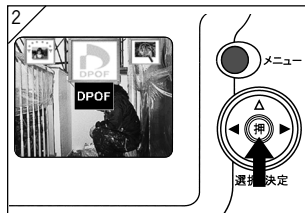
全コマを削除する

３．全ての画像を削除する場合は、選択ボタンを▼または▲側へ押して「全て」を選択し、決定ボタンを押します。

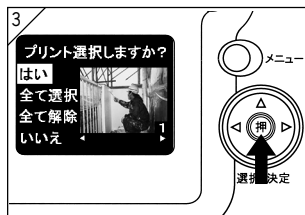
４．確認画面が表示され、「いいえ」がハイライト表示されます。
全コマ削除を確定する場合は、選択ボタンを◀または▶側へ押して「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

５．削除が完了すると「画像が記録されていないかカードが入っていません」と表示されます。
画像表示ボタンを押して液晶モニターを消灯させてください。

- 撮影した画像の中からプリントしたい画像を指定し、ＣＦカードに記憶させることができます。ＤＰＯＦ（Digital Print Order Format）対応のデジタルプリンタやラボサービスでプリントできます。
- ＤＰＯＦ（ディーポフ）設定された画像は、再生時に画像情報バー（Ｐ３７）にＤＰＯＦアイコンが表示されます。
- メインスイッチは「切」にして、電源をＯＦＦにします。

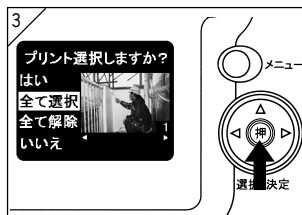
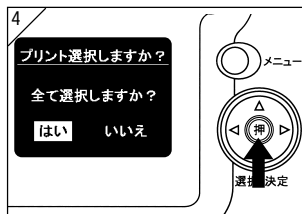
１コマを選択する

１．画面表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させます。
選択ボタンを◀または▶側へ押してプリントしたい画像を選択します。

＊ 全ての画像をプリントする場合は、どの画像が表示されていても構いません。

２．メニューボタンを押した後、選択ボタンを◀または▶側へ押して「ＤＰＯＦ」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

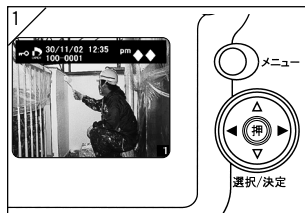
＊ １コマを選択する場合は次の３へ、全コマを選択する場合はＰ５７－３へ進んでください。

３．「はい」がハイライト表示されますので、決定ボタンを押します。

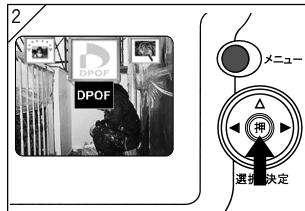
４　確認画面が表示され、「いいえ」がハイライト表示されますので決定ボタンを押します。

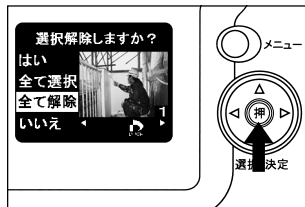
＊ 設定が完了すると１の画像に戻ります。

全コマを選択する

３．全ての画像をプリントする場合は、選択ボタンを▼または▲側へ押して「全て選択」を選択し、決定ボタンを押します。

４．確認画面が表示され、「いいえ」がハイライト表示されます。
全コマ選択を確定する場合は、選択ボタンを◀または▶側へ押して「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

＊ 設定が完了すると１の画像に戻ります。

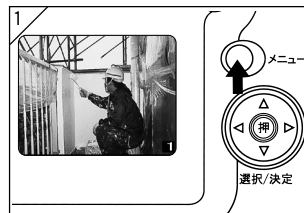
設定の解除

１．画面表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させます。
選択ボタンを◀または▶側へ押してプリント設定を解除させたい画像を選択します。

＊ プリント設定されている画像は、画像情報バー上にＤＰＯＦアイコンが表示されます。全てをプリント解除する場合は、ＤＰＯＦ設定されている画像をどれか１コマ選択してください。

２．メニューボタンを押した後、選択ボタンを◀または▶側へ押して「ＤＰＯＦ」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

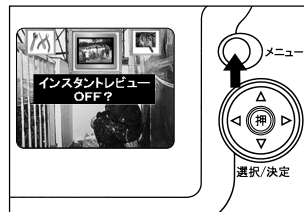
３．「はい」がハイライト表示されますので、選択した画像のみを解除する場合は、決定ボタンを押します。更に「プリント選択しますか？」の確認画面が表示されますので、解除を確定する場合は、「いいえ」のまま決定ボタンを押します。

全てを解除したい場合は、「全て解除」を選択し、決定ボタンを押します。更に「全て解除しますか？」の確認画面が表示され、「いいえ」がハイライト表示されます。全解除を確定する場合は、「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

＊ 設定解除が完了すると１の画像に戻ります。

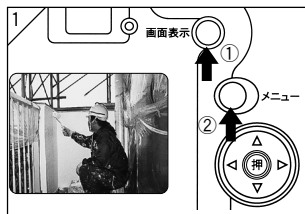
インスタントレビューの設定

●撮影後すぐに画像を液晶モニターに表示させて、撮った画像をその場で確認したい場合は、このモードを設定しておきます。
●設定は、メインスイッチのＯＮ／ＯＦＦに関わらず、設定を変えるまで保持されます。
●この機能の詳細については、Ｐ３８をご覧ください。
●メインスイッチは「入」にして、電源をＯＮにします。

１．画像表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させた後、メニューボタンを押します。

２．選択ボタンを◀または▶側へ押して、「インスタントレビュー」アイコンを表示させます。
「ＯＮ？」が表示されていたら決定ボタンを押します。
設定が完了し、スルー画像に戻ります。

＊ 決定ボタンを押さずにメニューボタンを押すと、設定は無効となり、スルー画像に戻ります。

「ＯＦＦ？」が表示されてる場合には、すでにインスタントレビューに設定されていますのでここでメニューボタンを押します。設定を変えずにスルー画像に戻ります。

＊「ＯＦＦ？」表示のときに決定ボタンを押すと、インスタントレビュー設定は解除されます。

●セットアップメニューの各項目を変更することにより、自分に合った使いやすい設定でカメラを使用することができます。
●各設定は、メインスイッチの入／切に関わらず、設定を変えるまで保持されます。
●メインスイッチは入／切どちらの状態であっても設定可能です。

1．画像表示ボタンを押して液晶モニターを点灯させた後、メニューボタンを押します。

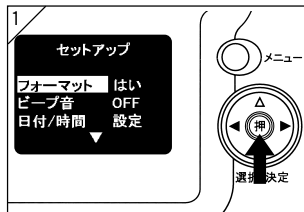
2．選択ボタンを◀または▶側へ押して、「セットアップ」アイコンを表示させ、決定ボタンを押します。

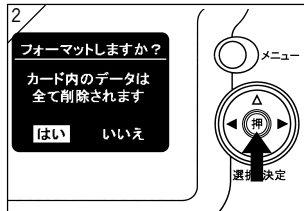
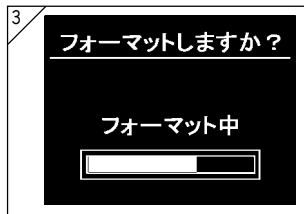
3．選択ボタンを▼または▲側へ押して設定するメニューをハイライト表示させます。選択ボタンを押す毎にメニューは下記のように切替わります。

▼	フォーマット	（→ P 6 1） ▲
	ビープ音	（→ P 6 2）
	日付／時間	（→ P 6 2）
	モニタの明るさ	（→ P 6 3）
	言語	（→ P 6 3）

＊ 各メニューの設定の方法の詳細は、以降のページをご覧ください。
＊ メニューボタンを２回押すとセットアップメニュー表示は終了し、１の画像に戻ります。

ＣＦカードをフォーマットする

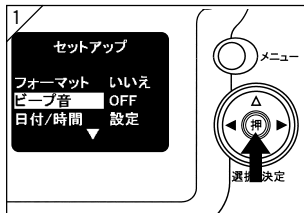
●ＣＦカードをフォーマットすると購入時の状態に戻ります。
●フォーマットすると、ロック設定（Ｐ５１）された画像があっても全て削除されてしまいます。ご注意ください。
●ＣＦカードのフォーマットは必ずカメラ本体で行なってください。パソコンでフォーマットした場合、ＣＦカードが正常に使用できなくなることがあります。

1．セットアップメニューの中から「フォーマット」を選択します。

「いいえ」が選択されています。選択ボタンを◀または▶側へ押して「はい」を表示させ、決定ボタンを押します。

2．「いいえ」が選択されています。フォーマットを実行する場合は選択ボタンを◀または▶側へ押して「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

3．フォーマットが開始されると、「フォーマット中」画面が表示されます。

⦸ フォーマット中は、メモリーカード蓋を絶対に開けないでください。カードが損傷する恐れがあります。

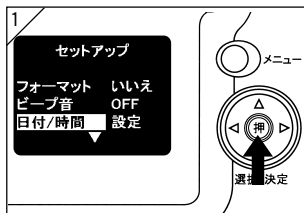
フォーマットが完了すると「画像が記録されていないかカードが入っていません」と表示されます。

ビープ音を鳴らさないようにする

●各種操作時に鳴るビープ音を止めることができます。

1．セットアップメニューの中から「ビープ音」を選択します。
選択ボタンを◀または▶側へ押して「ＯＦＦ」を表示させ、決定ボタンを押します。

＊「ＯＮ」を選択して決定ボタンを押すと、音が鳴る設定に戻ります。
＊設定後、メニューボタンを２回押すとＰ６０－１の画像に戻ります。

日時を調整する

●電池交換したときは、日時の設定を確認してください。また、電池を外して約１５分以上経った場合、日時の設定が初期値に戻ることがありますので、その場合は再設定を行なってください。

1．セットアップメニューの中から「日付／時間」を選択し、決定ボタンを押します。
日時設定モードに入ります。

2．「日付・時刻を合わせる」（Ｐ２７～Ｐ２８）の２～５の方法で日付・時刻を合わせてください。

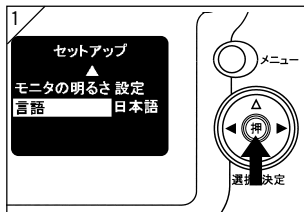
3．設定が完了するとＰ６０－１の画像に戻ります。

液晶モニターの明るさを調整する

●周囲の明るさに合わせて、液晶モニターの明るさを調整できます。

1．セットアップメニューの中から「モニタの明るさ」を選択し、決定ボタンを押します。

2．選択ボタンを▶側へ押すと、カーソル（◆）は＋側に動き画面が明るくなります。◀側に押すとカーソル（◆）は－側に動き画面が暗くなります。
お好みの明るさの所で決定ボタンを押すと設定完了となり、Ｐ６０－１の画像に戻ります。

言語を変更する

1．セットアップメニューの中から「言語」を選択します。
選択ボタンを◀または▶側に押して希望の言語を選択し、決定ボタンを押します。
選択した言語が表示されます。

＊メニューボタンを２回押すとＰ６０－１の画像に戻ります。

●カメラで撮影した画像は、別売の「DIGITAL 現場監督ＤＧ－２用ＰＣ接続キット（型番：ＤＧ－ＰＣ２）」を使用して、パソコンに転送することができます。

動作環境

●パソコンの動作環境は以下の通りです。

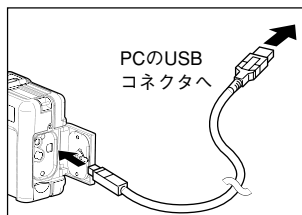
１．Ｗｉｎｄｏｗｓ

ＯＳ	：Windows ９８、Windows ９８ SE、WindowsＭｅ、Windows ２０００、WindowsXP がインストール済み
メモリ	：１６ＭＢ以上の使用可能なＲＡＭ（３２ＭＢ以上を推奨）
ディスプレイ	：３２０００色以上、解像度６４０×４８０ｐｉｘｅｌ以上の表示
その他	：ＣＤ－ＲＯＭドライブ搭載、ＵＳＢポート標準装備

２．Ｍａｃｉｎｔｏｓｈ

ＯＳ	：Mac OS ９．０／９．１／Ｘ（バージョン10.0.1以上）
ＣＰＵ	：ＰｏｗｅｒＰＣ以上搭載
メモリ	：１６ＭＢ以上の使用可能なＲＡＭ（３２ＭＢ以上を推奨）
ディスプレイ	：３２０００色以上、解像度６４０×４８０ｐｉｘｅｌ以上の表示
その他	：ＵＳＢポート標準装備

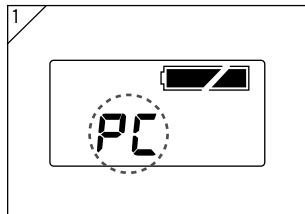
ＵＳＢケーブルと接続する

●カメラのメインスイッチは「切」にして、電源をＯＦＦにします。
●撮影画像が保存されたＣＦカードが装着され、電池またはＡＣアダプターが装着されていることをご確認ください。
●ＵＳＢケーブルは必ず「DIGITAL 現場監督ＤＧ－２用ＰＣ接続キット（型番：ＤＧ－ＰＣ２）」のものをご使用ください。
●カメラへＵＳＢケーブルを接続したり外したりする際に、パソコンの電源を切る必要はありません。

１． パソコンの電源を入れ、Windows あるいはMac OS を起動します。

２． カメラの端子カバーを開け、ＵＳＢケーブル（別売）でカメラとパソコンを接続します。

※ カメラをパソコンに接続しているときは、カメラの操作（メインスイッチ以外）はできません。
※ カードアクセスランプ点灯中は、ＵＳＢケーブルやＡＣアダプターを外したり、カード蓋を開けたりしないでください。
※ ＵＳＢケーブルの接続を外すときも、カメラの電源はＯＦＦにしてください。また、ＵＳＢケーブルを外した後は、カメラの端子カバーを確実に閉めてください。
※ パソコンとの通信時にはＡＣアダプターのご使用をおすすめします。ＡＣアダプターの接続／取り外しは、カメラの電源がＯＦＦで、パソコンとカメラが接続されていない状態で行なってください。

ＵＳＢデバイスドライバーをインストールする

●Windows ９８／９８ＳＥをご使用の場合のみインストールしてください。他のＯＳをご使用の場合は、ＵＳＢデバイスドライバーのインストールは必要ありません。
●カメラのメインスイッチは「切」にして、電源をＯＦＦにします。
●電池の消耗を防ぐため、ＡＣアダプター（別売、型番：ＤＧ－ＡＣ１）のご使用をおすすめします。

１．パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
ＵＳＢケーブルでカメラとパソコンを接続後（Ｐ６５）、カメラのメインスイッチを「入」にして電源をＯＮにします。液晶パネルには「ＰＣ」と表示されます。

２．パソコンには、「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。

３．付属のＣＤ－ＲＯＭを、ＣＤ－ＲＯＭドライブにセットします。

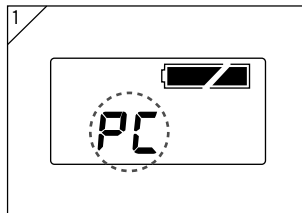
４．「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。

５．「検索場所の指定」をクリックし、「Ｄ:￥」を入力し、「次へ」をクリックします。
＊ここでは、ＣＤ－ＲＯＭドライブをＤドライブとして説明します。
＊別の検索場所を指定する場合は「参照」をクリックしてください。

６．続いて表示される画面でも「次へ」をクリックします。

７．「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアのインストールが完了しました」と表示されますので、「完了」をクリックします。これで、ＵＳＢデバイスドライバーのインストールは終了です。

画像をダウンロード（転送）する

●カメラのメインスイッチは「切」にして、電源をＯＦＦにします。
●電池の消耗を防ぐため、ＡＣアダプター（別売、型番：ＤＧ－ＡＣ１）のご使用をおすすめします。

１．パソコンの電源を入れ、WindowsあるいはMac OSを起動します。ＵＳＢケーブルでカメラとパソコンを接続後（Ｐ６５）、カメラのメインスイッチを「入」にして電源をＯＮにします。液晶パネルには「ＰＣ」と表示されます。

２．Windowsの場合、「マイコンピュータ」を開き、新しく作られた「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックします。
Macの場合、デスクトップ上に「名称未設定」アイコンが表示されます。

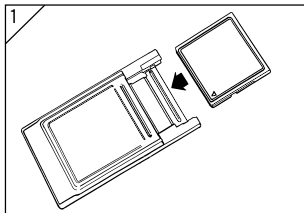
３．「ＤＣＩＭ」フォルダをダブルクリックします。

４．「１００ＫＯＮＩＣ」をダブルクリックすると、画像ファイルのアイコンが表示されます。
＊「１００ＫＯＮＩＣ」の最初の３ケタの数字は、カード内に存在するディレクトリにより異なります。

５．ファイルをダブルクリックすると、画像が表示されます。
保存する場合は、ドラッグアンドドロップで任意の場所にコピーしてください。

※ カメラに撮影画像が保存されたＣＦカードが入っていないときは、パソコンと接続できません。

ＣＦカードから直接パソコンに読み取る

●ＣＦカード用アダプター（市販品）を用いて、ＰＣＭＣＩＡ ＴＹＰＥ IIIIIII準拠ＡＴＡカードとして、パソコンで直接画像を取り込むことができます。

1．カメラからＣＦカードを取り出し、ＣＦカード用アダプターに差し込みます。

2．ＰＣＭＣＩＡ ＴＹＰＥ IIのカードに適合するスロットを持ち、ＡＴＡカードの読めるパソコンに装着してください。

＊装着方法の詳細については、ご使用のパソコン本体の取扱説明書でご確認ください。

3．Ｅｘｉｆ（ＪＰＥＧ）をサポートしているアプリケーションソフトで、画像を開いてください。
「ＤＣＩＭ」という名前のディレクトリ（フォルダ）の中に「１００ＫＯＮＩＣ」というフォルダがあり、その中に、ＰＩＣＴ０００１．ＪＰＧ，ＰＩＣＴ０００２．ＪＰＧ，ＰＩＣＴ０００３．ＪＰＧ・・・という名前で画像ファイルができています。

＊「１００ＫＯＮＩＣ」の最初の３ケタの数字は、カード内に存在するディレクトリにより異なります。

注意：＊必要に応じて、画像ファイルをハードコピーなど他のメディアにコピーしたり消去することができます。ご使用のＯＳの取扱説明書を参照ください。なお、この操作により生じた損害等についての保証・責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。
＊パソコンで、ＣＦカードに保存されている画像データのファイル名を変更したり、カメラによる画像データ以外のファイルを書き込んだりしないでください。
＊カメラで設定したプロテクト指定は、ファイルの読み出し専用属性をセットしたものです。パソコンで属性を変更しないでください。変更した場合、カメラで設定したプロテクト指定は無効となります。
＊大切なデータは必ずバックアップを取ってください。

海外旅行にお持ちになる場合

DIGITAL現場監督ＤＧ－１用ＡＣアダプター（別売、型番：ＡＣ－ＤＧ１）のご使用について

●ＡＣ１００Ｖ～ＡＣ２４０Ｖ、５０／６０Ｈｚの電源電圧でご使用になれます。
●電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントにあった変換アダプターを予め旅行代理店などでご確認の上ご用意ください。

保証書について

●本機は国内仕様です。付属している保証書は、日本国内でのみ有効です。
●外国で万一、故障や不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよび、その費用についてはご容赦ください。

お手入れ時のお願い

お手入れの際は、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。
・お手入れの際は、最初に電池を取り出してください。また、ＡＣアダプターを使用の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
・カメラの外装には、ゴムやプラスチックが多く使われ、また、印刷や塗装がしてあります。ベンジンやシンナーなどで拭いたりすると変色したり、塗装や印刷が剥げることがあります。

使用後のお願い

長時間使用しないときは、電池を取り出してください。また、ＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
・長時間電池を入れたままにすると、液漏れを起こし、故障の原因となります。
・保管するときは、本機・電池共、涼しく湿気の少ない、なるべく温度の一定した所に保管してください。
　推奨温度：１５℃～２５℃
　推奨湿度：４０％～６０％

ＣＦカードについて

取扱いについて
・曲げたり、強い力や衝撃を加えないでください。
・湿度の高い所、ほこりや湿気の多い所、静電気や電磁波の発生しやすい所に保管しないでください。
・端子部にゴミや水、異物を付着させないでください。

画像データについて

・他機種やパソコンで記録された画像やファイルの消去はパソコンで行なってください。
・お客様または第三者がＣＦカードの使い方を誤ったり、ＣＦカードが静電気や電気的ショックなどの影響を受けたり、故障や修理した場合、記録したデータが消滅することがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社では一切責任を負えませんので予めご了承ください。

液晶モニターについて

・液晶モニターは、精密度の高い技術で作られています。９９．９８％以上の有効画素がありますが、０．０２％以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
・寒い所で使うと、はじめは画面が通常より少し暗くなりますが、本体内部の温度が上がってくると通常の明るさになります。
・ほこりや指紋などが付着して汚れたときは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。

故障かな？と思ったら

●下表に従って点検しても直らないときは、お買い上げ店または、コニカサービス　サポートセンター（Ｐ７９）にお問い合わせください。

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
電源	電源が入らない	・電池が消耗している ・電池が正しい向きで入っていない ・ＡＣアダプターが正しく接続されていない	２３ ２２ ２４
	電源を入れてもすぐに切れる	・電池が消耗している ・低い温度の所で使用している	２３ ７０
撮影	シャッターボタンを押しても撮れない	・メインスイッチが「入」の位置になっていない ・撮影可能なＣＦカードが入っていない ・撮影可能枚数いっぱいに撮っている →　不要な画像は削除してください ・セルフタイマー撮影になっている ・フラッシュが充電中である	２５ ６１ ５４ ４３ ４０
	ピントが合わない	・被写体が画面中央にない ・ピントが合わせにくい被写体である ・防塵ガラスが汚れている ・被写体との距離が合っていない	３４ ３４ ３２ ３２
	液晶モニターの表示や画像がはっきりしない	・液晶の明るさ調整が合っていない ・指紋やほこりがついている	６３ ７１
	フラッシュが発光しない	・フラッシュが「発光禁止」モードになっている	４１

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
再生	再生できない	・メインスイッチが「切」になっていない ・撮影済みのＣＦカードが入っていない ・ＣＦカードの画像を全て削除した	３７ ３７ ５４、６１
	画像が自然な色合いにならない	・ホワイトバランスが制御できない状況の可能性がある	４４
	画像が暗い	・距離が遠くてフラッシュ光が届かなかった ・光量が不足していた	４０ ３３
	画像が明るすぎる	・被写体に近づきすぎてフラッシュを発光した	４０
その他	パソコンに転送できない	・パソコンと正しく接続されていない ・撮影済みのＣＦカードが入っていない	６５ ６７
	日付が正しく表示されない	・電池を外したまま１５分以上経っていた	６２

●液晶パネル上の残りコマ数表示部分に下記エラーメッセージが点滅したときは、以下の方法で対処してください。

１．「Ｅｒｒ」が点滅した　→　カメラの動作エラーです。

・**対処方法**（次のいずれかの方法を行なってください）
・メインスイッチを一旦「切」にした後、再度「入」にする。
・電池を全て取り出してから再度入れる。
・ＡＣアダプターを使用していた場合は接続を外し、電池を取り出してから再度入れ、ＡＣアダプターを再度接続し直す。

引き続きエラーが発生する場合は、お買い上げ店またはコニカサービス　サポーターセンター（Ｐ７９）にお問い合わせください。

２．「０００」が点滅した
→　ＣＦカードの容量がいっぱいになっている、ＣＦカードが損傷している、ＣＦカードが入っていないなどの原因により撮影できない状態であることを示します。また、シャッターボタンを押すとファインダーＬＥＤには赤ランプが点灯します。

・**対処方法**（次のいずれかを確認してください）
・カメラにＣＦカードがセットされていることを確認してください。
・新しい空のＣＦカードをセットした直後にエラー表示された場合は、カードがフォーマットされていない可能性があります。カードをフォーマットしてください（Ｐ６１）。
・多くの画像を撮影し、ＣＦカードに保存したあとでエラー表示された場合はカードの容量がいっぱいになっています。不要な画像を削除（Ｐ５４）するか、画像をパソコンにダウンロード（Ｐ６７）してからカード内の画像を削除するか、新しいＣＦカードに交換するなどしてください。
・ＣＦカードがフォーマットされていて、容量もいっぱいになっていないにも関わらずエラー表示される場合は、カードが損傷している可能性があります。カードを再フォーマットするか、別のカードを使用してください。

DIGITAL 現場監督ＤＧ - ２用ＰＣ接続キット（型番：ＤＧ - ＰＣ２）

※動作環境については、Ｐ６４をご覧ください。

●同梱品
１）ＵＳＢケーブル
２）ＣＤーＲＯＭ（ドライバーソフト）
３）説明書（兼保証書）

DIGITAL現場監督ＤＧ - ２用ワイドコンバージョンレンズセット（型番：ＤＧ-W-Ｋ）

●同梱品
１）ワイドコンバージョンレンズ（２８ｍｍ相当、防水仕様）
２）レンズキャップ（前・後キャップ）
３）外付けファインダー（２８ｍｍ相当、防水仕様）
４）ソフトケース
５）説明書（兼保証書）

DIGITAL現場監督ＤＧ - １用ＡＣアダプター（型番：ＤＧ - ＡＣ１）

※このＡＣアダプター（型番：ＤＧ - ＡＣ１）は、DIGITAL 現場監督ＤＧ - ２に共通でご使用になれます。

●同梱品
１）ＡＣアダプター
２）取扱注意書

おもな仕様

形式	：単焦点防水デジタルスチルカメラ
有効画素数	：１９５万画素
記録媒体	：コンパクトフラッシュカード
記録画素数	：高画質　１６００×１２００ pixel 提出用　１２８０×　９６０ pixel エコノミー　６４０×　４８０ pixel
記録方式	：JPEG 準拠（可変長化）
フォーマット	：ＤＣＦ準拠※、ＤＰＯＦ対応
撮像素子	：１／２．７インチ、 総画素数 1688 × 1248pixel（２１１万画素）、 実効画素数 1620 × 1220pixel（１９８万画素）
撮影レンズ	：ｆ＝５．８ｍｍ、Ｆ２．８（５群６枚） （１３５サイズカメラ換算でｆ＝３８ｍｍ相当）
焦点調節	：ＣＣＤ像面オートフォーカス
撮影範囲	：０．３ｍ～∞（通常撮影時：０．８ｍ～∞） （近距離撮影時：０．３ｍ～０．８ｍ）
絞り機構	：ステップモーター駆動（Ｆ２．８、Ｆ３．８、Ｆ５．６、 Ｆ９．８の４段階切替式）
シャッター速度	：約２秒～１／７５０秒
露出制御	：プログラムＡＥ（６ＥＶ～１６ＥＶ）
測光	：中央重点測光、逆光自動検知
ホワイトバランス	：自動補正
ファインダー	：実像式ファインダー
フラッシュ	：内蔵式自動調光フラッシュ、 撮影可能範囲：約０．３ｍ～２．８ｍ、 ＡＵＴＯ／ＯＮ／ＯＦＦ／赤目軽減を選択可能、 充電中はファインダーＬＥＤの赤ランプ点灯
撮影モード	：単写、セルフタイマー（約１０秒）、デジタルズーム （×１．５、×２、×２．５）
液晶モニター	：バックライト内蔵式１．８インチカラー液晶
再生	：１コマ再生、インデックス再生、２倍ズーム再生
消去	：１コマ消去、全コマ消去、フォーマット

ＬＥＤ表示	：セルフタイマーＬＥＤ、ファインダーＬＥＤ、カード アクセスＬＥＤ
ブザー	：撮影時、各種警告時
オートデート機構	：年月日時分を記録
電源	：単３形アルカリ乾電池４本、ニッケル水素電池４本、 専用ＡＣアダプター
入出力端子	：ＵＳＢ端子、ＡＣアダプター電源入力端子
動作温度	：０℃～４５℃（湿度２０％～８０％）
防水性能	：種類・JIS ７級（防浸形）、水洗い可、雨中の撮影可、 水中撮影不可
大きさ	：１３８．５×７６．５×５３ｍｍ（突起部除く）
質量（重さ）	：４２５ｇ（電池、カード別）

＊ 上記性能については、当社試験条件によります。
＊ 製品の仕様および外観については、予告なく変更することがあります。

※ DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は･･･
まず、お買い上げ店へお申し付けください。

●保証書（別添付）
お買い上げ店からお受け取りの際は、お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずご確認ください。保証書はよくお読みになったあと保存してください。

※保証期間は、お買い上げ日から本体１年間です。

●修理を依頼されるときは
Ｐ７２～７３の表に従ってご確認のあと直らないときは、接続している電源を外してから、お買い上げ店へご連絡ください。

注）修理品をご持参・お持ち帰りの際の交通費、またはご送付される場合の送料および緒掛かりはお客様のご負担とさせていただきます。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため、受け渡しの確認のできる手段（簡易書留や宅配便）をご利用ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げ店で修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げ店にお持ちください。

注）使用上の誤り、当社以外での修理・改造・分解による故障や保管上の不備による故障は保証の対象になりません。また、砂泥かぶり、浸・冠水、衝撃、落下、火災などの事故による故障は保証の対象にならないだけでなく、著しく損傷したものは殆ど機能の修復は望めません。
修理が可能かどうかの判定は当社サービスステーションにご相談ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品につきましては、ご希望により有料で修理させていただきます。
但し、デジタルスチルカメラの補給用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は生産打ち切り後８年間が目安です。

カメラ本体に関する技術的なお問い合わせは･･･

●株式会社コニカサービス　サポートセンターまで
住所　：〒191-0003　東京都日野市日野台　５-２２-１７
電話　：０４２-５８７-１０４４
ＦＡＸ：０４２-５８４-７５５６
●電話での受付時間のご案内
１０：００～１７：００
●休業のご案内
土・日曜日・祝日
その他の休業日（年末、年始、夏期休暇）

カメラ本体の修理に関するお問い合わせは･･･

●サービスステーション（本製品についてのお問い合わせ・修理の受付窓口）

東京（新宿）	160-0022 東京都新宿区新宿 3-26-11 新宿高野ビル 4F TEL(03)5269-0691(代)
大阪	541-0059 大阪市中央区博労町 4-4-1 コニカ大阪ビル 3F TEL(06)6253-0251(代)
名古屋	460-0008 名古屋市中区栄 2-2-17 名古屋情報センタービル 3F TEL(052)221-8950(代)
福岡	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-4 安田生命博多ビル 8F TEL(092)451-4810(代)
札幌	060-0003 札幌市中央区北三条西 1-1-1 ナショナルビル 7F TEL(011)271-6434(代)
仙台	983-0852 仙台市宮城野区榴岡 5-12-55 NAViS ビル 4F TEL(022)298-9050(代)
広島	730-0037 広島市中区中町 8-6 フジタビル 1F TEL(082)249-4116(代)

●営業時間のご案内
新宿　１０：３０～１８：３０、その他　９：００～１７：２５
●休業のご案内
土・日曜日・祝日
その他の休業日（年末、年始、夏期休暇、新宿は特別休館日もあります）
※詳しくはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

＊コニカのホームページ　http://www.konica.co.jp

環境保護のため再生紙を使用しております。

163-0512 東京都新宿区西新宿1-26-2　新宿野村ビル

カメラ本体に関する技術的なお問い合わせは･･･

●株式会社コニカサービス　サポートセンターまで

住所　：〒191-0003　東京都日野市日野台　５-２２-１７

電話　：０４２-５８７-１０４４

ＦＡＸ：０４２-５８４-７５５６

●電話での受付時間のご案内

１０：００〜１７：００

●休業のご案内

土・日曜日・祝日

その他の休業日（年末、年始、夏期休暇）

PRINTED IN JAPAN
1015 95110-02